

特性内容	理由
対象の住戸にアクセスするエレベーターがない	エレベーターがないことにより搬入の追加人件費が掛かります。
最上階の住戸には、天井造作が必要	最上階は天井面が外部に接するため断熱する必要があり 天井造作をして断熱材を隠す必要があります。 ※標準は、トイレ・サニタリーのみ造作天井、その他は躯体（コンクリート）天井に塗装仕上げと想定しています。
角部屋の住戸には、追加で断熱材が必要	角部屋の住戸は外部に接する壁が増えるため断熱材の量が増加します ※標準はバルコニー側と共用廊下側に使用する断熱材量と想定しています。
既存自動火災報知器の移設	自動火災報知器の移設は資格を持った特定の職人でしか工事ができないため追加費用が必要となります。
アスベストが使用されている	アスベスト撤去費用が必要となります。
既存住戸がユニットバス以外（在来浴室）で作られている	タイルの撤去や排水管交換のためにモルタルを削る費用等が必要となります。
既存住戸（マンション）が電気温水器で給湯する仕組みとなっている	電気温水器の撤去新設費用、材料費が必要となります。 ※標準はガス給湯器と想定しています。
既存住戸の窓サッシに問題がある場合	既存住戸の窓サッシに問題がある場合、カバー工法を用いて交換します。 ※窓はマンション共有部となるため管理会社、管理規約で可能な場合のみとなります。
対象となるマンションがタワーマンションの場合	高層マンションはコンクリートにビスを打ち込むことを禁止する場合や 防災計画上スプリンクラー使用しており増設や移設に費用等が必要となります。
対象となるマンションが旧耐震基準の場合	完成当時の図面がない場合の調査費用やコンクリート面の補修など 築古物件に対応する費用を見込んでいます。

※上記項目以外に物件の特徴ごとにリノベーションに必要な費用が発生する場合があります。詳しくは無料個別相談会でご確認ください。